# LightShop

# 無限のライト効果を作成することができます



# akvis.com

# CONTENTS

- アプリケーションの用途
- Windowsでのインストール
- Macでのインストール
- プログラムの登録
- ライセンス比較
- 操作方法
  - ワークスペース
  - 操作方法
  - 光の効果
  - 新しいライト効果の作成
  - 汎用パラメータ
  - ツールバー
  - 輝きブラシ
  - 環境設定
  - 印刷
  - 一要素とそのパラメータ おぼろ月
  - リング
  - 多角形
  - 光のストライプ
  - ビーム
  - 粒子
  - 星の爆発
  - 光の爆発
  - 光線
  - ハロー
  - ・ 光の点
  - 楕円形の光の点
- 操作例
  - 夜空を彩る花火
- AKVISプログラム

# LIGHTSHOP V.7.0 | 光と星の効果

AKVIS LightShop は、画像に輝く星や光の効果を追加するための高度なライト効果を提供します。

人は生まれながらに、光り輝くもの、きらめくもの、きらきらするものに心を惹かれます。

ライト効果は、写真をを明るくします。光るオブジェクトに反射を加えることでより自然な仕上がりに、またはその逆の効果として、少しのマジックと ファンタジーを加えることもできます。数回のクリックするだけで、愛する人の目は光り輝くダイヤモンドのようにできます。いくつかの簡単な複製 で、夜景の中に月明かりの道が現れます。

AKVIS LightShop を使うと、素晴らしい光の効果を作成できます。太陽のフレア、遠く離れた惑星や星からの光、夜空に浮かぶ謎の光、色鮮やかな虹、雨粒の反射、花火など、想像可能などんな効果でも作成できるでしょう。



さまざまな使用方法を見つけることができます。魅力的な写真に反射や輝きを加え、セレブが身に着けた宝石をさらに輝かせたり、広告用のカ タログに人目を惹きつけたりすることに使用できます。クリスマスカードには光と輝きが欠かせません。味気ない風景写真は太陽の光や水の反射 などを加えて、復活させることができます。



AKVIS LightShop では、光や星の効果を無限に作成することができます!

想像力を大いに発揮してみませんか。是非本プログラムを活用してみてください。ユーザーが想像力を発揮しやすいように、149個もの光りの 効果に関するプリセット(そのまま使用可能な設定)が 12のグループに分類されて用意されています。まずは、用意されている効果で練習 し、それからオリジナルの効果を作成するとよいでしょう。少し練習するだけで、素晴らしい効果を作成できるようになるでしょう。



AKVIS LightShop は、効果領域の調整、色あせ、色、明るさ、不透明度の変更など、光の効果に関するあらゆるコントロールを提供します。プログラムには、光の効果を作成するための要素が豊富に用意されています。効果のどの要素も削除/変更でき、効果がどのように画像 ブレンドするか調整できます。



光の効果の他に提供される**輝きブラシ** ツールを使うと、様々な形、色、大きさの光り輝く光の点を画像に追加できます。ブラシを使って描画 すると、散りばめた星屑、輝くハートや花、グレア、レンズフレア、ぼけ味や魔法の粉のような効果、花火、粉雪、輝く小道、お祭りのフレームや 文字等...できることは数多くあります。できることに制限はなく、あなたの想像カ次第といえます!



**AKVIS LightShop** は、Windows と Mac OSX 共に、スタンドアロン版とプラグイン版 (AliveColors, Photoshop, Corel PaintShop Pro や他のグラフィックエディターで利用可能)の 2種類で提供されます。詳細は、比較表を参照してください。

# インストール

AKVIS LightshopをWindowsでインストールするには、次の指示に従います。

- exeをダブルクリックします。
- 言語を選択して、[次へ]をクリックして続行します。
- インストールを継続するには、ライセンス合意書を読み、同意する必要があります。ライセンス合意書に同意する場合は、[使用許諾契約の条項に同意します]チェックボックスを選択し、[次へ]をクリックします。

	lightshon	
	使用許諾契約	
	AKVISライセンス使用許諾契約書	•
	<u>ユーザへの注意:</u>	
	このエンドユーザ ライセンス使用許諾契約書(以下、「本契約」) は法的拘束力を持ちます。ソフトウェア使用前に必ず全体を注意深 くお読みください。本契約は、あなた(ユーザ自身)の製品の使用に コンス字かたちのです(以下にデオ条件のもと) APO((5割号への	
	アクセスは、本契約のすべての条項に同意することによって制限な く楽しむことができるようになります。本契約の最後に、本契約に 同意してインストールを続けるか、同意しないでインストールを中	
	▶ エー・・コーナー コーケー キー・シュート クレート クレート クレート マート・マート マート マート マート マート マート マート マート マート マート	
L.	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

リストから使用しているフォトエディタを選択し、 [次へ]をクリックします。 リストにフォトエディタがない場合は、[Custom Plugins Directory]をクリックで選択し、[変更]からC:\Program Files\Corel\...\Pluginsのような、フォトエディタのプラグインフォルダを選択します。

スタンドアロン版をインストールするには、[Standalone]を選択します。

岗 AKVIS Lightsho	p - InstallShield Wizard
	Lightshop
	SELECT FEATURES TO INSTALL
	<ul> <li>Standalone</li> <li>Shortcut on Desktop</li> <li>Plugin</li> <li>Adobe Photoshop CS5</li> <li>Adobe Photoshop CS5 (64 bit)</li> <li>Adobe Photoshop CS6</li> <li>Adobe Photoshop CS6 (64 bit)</li> <li>Corel Paint Shop Pro X2</li> <li>Custom Plugins Directory</li> </ul>
5	インストール先: C:\ 変更(C)
	ヘルブ(H) < 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

• [インストール]をクリックしてAKVIS Lightshopのインストールを開始します。

	B AKVIS Lightshop - InstallShield Wizard				
		Lightshop			
		「インストール」をクリックして、インストールを開始してください。			
		インストールの設定を参照したり変更する場合は、「戻る」をクリックしてください。「キャンセル」をクリックすると、ウィザードを終了します。			
	3				
		< 戻る(B) インストール(I) キャンセル			
<ul> <li>インストールが開始されます。</li> </ul>					
😸 AKVIS Lightshop - InstallShield Wizard					
	岗 AKVIS Lightsho	op - InstallShield Wizard			
	AKVIS Lightsho	Lightshop			
	AKVIS Lightsho	op - InstallShield Wizard <b>Lightshop</b> InstallShield ウィザードは、AKVIS Lightshop をインストールしています。しば らくお待ちください。			
	AKVIS Lightsho	pp - InstallShield Wizard <b>Lightshop</b> InstallShield ウィザードは、AKVIS Lightshop をインストールしています。しば らくお待ちください。 ステータス:			
	AKVIS Lightsho	op - InstallShield Wizard <b>Lightshop</b> InstallShield ウィザードは、AKVIS Lightshop をインストールしています。しば らくお待ちください。 ステータス: 新しいファイルをコピーしています			
	AKVIS Lightsho	op - InstallShield Wizard <b>Lightshop</b> InstallShield ウィザードは、AKVIS Lightshop をインストールしています。しば らくお待ちください。 ステータス: 新しいファイルをコピーしています			
	AKVIS Lightsho	op - InstallShield Wizard <b>Lightshop</b> InstallShield ウィザードは、AKVIS Lightshop をインストールしています。しば らくお待ちください。 ステータス: 新しいファイルをコピーしています			
	AKVIS Lightsho	op - InstallShield Wizard Lightshop InstallShield ウィザードは、AKVIS Lightshop をインストールしています。しば らくお待ちください。 ステータス: 新しいファイルをコピーしています			
	AKVIS Lightsho	op - InstallShield Wizard <b>Lightshop</b> InstallShield ウィザードは、AKVIS Lightshop をインストールしています。しば らくお待ちください。 ステータス: 新しいファイルをコピーしています			

インストールが完了しました。

• AKVIS ニュースレターを購読することができます。購読を希望する場合は、メールアドレスを入力してください。

AKVIS Lightsho	op - InstallShield Wizard
	Lightshop
	InstallShield ウィザードは、AKVIS Lightshop を正常にインストールしました。「 完了」をクリックして、ウィザードを終了してください。
	AKVIS ニュースレターを購読することができます。
	メール アドレスを入力してください。
	□ Windows Installer のログを表示
5	< 戻る(B) <b>完了(F)</b> キャンセル

• [完了]をクリックしてセットアップを終了します。

スタンドアロン版のAKVIS Lightshop のインストールが完了すると、[スタート]メニューに[AKVIS -Lightshop]という新しいメニュー、およびデスクトップ上にショートカットが作成されます。

AKVIS Lightshop のインストールが完了すると、フォトエディタの [フィルタ]([効果])メニュー内に[AKVIS] > [Lightshop]という新 しいメニューが表示されるようになります。

# インストール

- 仮想ディスクを開く:
  - akvis-lightshop-app.dmg (Lightshopのスタンドアロン版をインストールする場合)
  - akvis-lightshop-plugin.dmg (Photoshopを使用する場合)
- ライセンス使用許諾契約書を読み、同意する場合は[Agree]をクリックします。



• Finderが開き、[AKVIS Lightshop App]または[AKVIS Lightshop PlugIn]フォルダが表示されます。



• スタンドアロン版をインストールするには、[AKVIS Lightshop App]を[Applications]フォルダにドラッグします。

プラグイン版をインストールするには、[AKVIS Lightshop Plugin]を(フォルダごと)[Plug-Ins]フォルダにドラッグします。

たとえば、Photoshop CC 2019を使用する場合、[AKVIS Lightshop Plugin]フォルダを[Applications/Adobe Photoshop CC 2019/Plug-Ins]に移動します。

Photoshop CC 2018: [Applications/Adobe Photoshop CC 2018/Plug-Ins]。

Photoshop CC 2017: [Applications/Adobe Photoshop CC 2017/Plug-Ins].

Photoshop CC 2015.5: [Library/Application Support/Adobe/Plug-Ins/CC].

Photoshop CC 2015: [Applications/Adobe Photoshop CC 2015/Plug-Ins].

Photoshop CS6: [Applications/Adobe Photoshop CS6/Plug-ins].



AKVIS Lightshop Plugin のインストールが完了すると、フォトエディタの [フィルタ]([効果])メニュー内に[AKVIS] > [Lightshop]という新しいメニューが表示されるようになります。

## AKVIS製品のアクティベーション方法

注意: この方法でアクティベーション処理を行うには、インターネット接続が必要です。

インターネット接続環境がない場合、別の方法でのアクティベーション(詳細は「オフライン アクティベーション」を参照してください)も提供しています。

このウィンドウはAKVIS Lightshopを起動すると表示されます。プログラムの実行中に をクリックして開くこともできます。

また、Adobe Photoshopでは、[ヘルプ] > [プラグインについて] > [Lightshop]から(Macでは[Photoshop] > [Plug-In について] > [Lightshop])から開けます。



ソフトウェアを試しに使う場合は、[無料トライアル]をクリックします。新しいウィンドウが開き、試用可能なライセンスの一覧が表示されます。

ソフトウェアのすべての機能を試用するために、試用版をアクティベートする必要はありません。プログラムを試用期間の10日間、使用するだけです。

プログラムの機能はライセンスの種類によって異なりますので注意してください。試用期間中にすべての機能を試すことができますので、利用環 境に最適な種類を選んで購入できます。パージョン情報ウィンドウでは、Home(プラグインまたはスタンドアロン)、Deluxe、また はBusinessのいずれかから試用するタイプを選択できます(各ライセンスを選択すると、その下にタイプの特長が簡単に説明されます)。選択 するライセンスによってAKVIS Lightshopで利用できる機能が異なります。

ライセンスの種類やLightshopのバージョンに関する詳細は、比較表を参照してください。

購入ボタンをクリックすると、購入ページへ移動しますので、プログラムを選択し、アクティベーションすることができます。

購入手続きが完了すると、シリアル番号が電子メールで送信されます。

[パージョン情報]ウィンドウで[アクティペート]をクリックし、アクティベーション処理を開始します。

	アクティベーション
お客様名:	John Smith
シリアル番号:	1234-5678-9012
	◎ アクティベーション サーバーへの直接接続
	○ 電子メールでリクエストを送信
シリアル番号を	りすれた場合、 <u>ここからレストア</u> できます。
アクティペーショ	ンで問題が生じた場合、 <u>む問合せください</u> 。

お客様名を入力します(プログラムはこの名前で登録されます)。

シリアル番号を入力します。

アクティベーション方法(アクティベーション サーバへの直接接続または電子メール)を指定します。

#### アクティベーションサーバーへの直接接続:

直接接続を利用して登録を行う方が安全かつ迅速に処理が行えますので、弊社ではその方法を推奨しています。

この方法でアクティベーション処理を行うには、インターネット接続が必要です。

[アクティペート]ボタンをクリックします。

これでアクティベーションは完了です。

#### 電子メールでリクエストを送信:

メールでのアクティベーションを選択した場合は、受信した電子メールに添付されているLightshop.licファイルを、このヘルプー番下の「注意」に書かれている場所に置いてください。

インターネット接続環境がない場合、以下の手順でアクティベーションを行ないます。

アクティベーション方法として、メールでのアクティベーションを選択します。お使いのメール プログラムにより、必要な情報が記載され たアクティベーション用メールを作成します。 作成したメールをUSBなどに保存し、インターネットに接続されたコンピュータにデータを移 動させます。

メール内容を変更せずにそのまま送信します。

スクリーンショットを添付しないでください! テキストだけをコピーして、保存してください。

必要な情報は、ソフトウェアのシリアル番号、コンピュータのハードウェアID、お客様名です。

これらの情報を元に、ライセンスファイル(Lightshop.lic)を作成し、返信いたします。

メールでのアクティペーションを選択した場合は、受信した電子メールに添付されているLightshop.licファイルを以下のフォルダに 置いてください。

• Windows Vista, Windows 7, Windows 8, Windows 10の場合:

Users\Public\Documents\AKVIS;

## ● Macの場合:

Users/Shared/AKVIS.

これでアクティベーションは完了です。

既にライセンスをお持ちの場合は、価格の差額を支払いすることで、いつでもアップグレードすることが可能です。[アップグレード]ボタンをクリッ クするとアップグレード処理が開始します(プログラムのアクティベーションが済んでいる場合に[購入]ボタンの代わりに表示されます)。

# LIGHTSHOP V.7.0 | 光と星の効果

# AKVIS LightShop を使って、無限の光のイメージ効果を作成してみましょう。

ライセンス比較:	<b>Home</b> (Plugin)	Home (Standalone)	Home Deluxe (Plugin+Standalone)	<b>Business</b> (Plugin+Standalone)
使用目的				
非商用	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$
商用	—	—	—	$\checkmark$
エディション				
Plugin 👑	$\checkmark$	—	$\checkmark$	$\checkmark$
Standalone 🔱	—	$\sim$	$\checkmark$	$\checkmark$
機能				
光の効果 (149)	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$
輝きブラシ:				
- 星	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$
- ハート	—	—	$\checkmark$	$\checkmark$
- 花	_	—	$\checkmark$	$\checkmark$
- バラ	_	—	$\checkmark$	$\checkmark$
- 多角形	_	_	$\checkmark$	$\checkmark$
除外ツール	_	_	$\checkmark$	$\checkmark$
効果のインポート (*.xml)	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$
印刷	_	$\checkmark$	<b>9</b> ⁄	<b>\$</b> ⁄
拡大フォーマットで印刷	_	$\checkmark$	<b>9</b> ⁄	<b>\$</b> ⁄
EXIF, IPTC	_	$\checkmark$	9	<b>9</b> ⁄
カラースペース				
RGB	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$
СМҮК	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$
Lab	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$
Grayscale	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$
8 / 16 bits	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$
32 bits	×		×	× .
イメージ フォーマット	*	Ť	·	·
TIFF	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$
JPEG	×	<ul> <li></li> </ul>	×	× .

BMP	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$
PNG	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$
RAW	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$
DNG	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$
PSD	$\checkmark$	—	. ا	*
OS				
Windows 7、8、8.1、10 - 32-bit、64- bit	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$
Mac OS 10.11、macOS 10.12-10.14 - 64-bit	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$
10 日間の評価期間	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$	$\checkmark$
価格	\$ 72	\$ 72	\$ 99	\$ 185

# ワークスペース

AKVIS LightShop は、独立したスタンドアロンプログラムとしても、お使いのフォトエディタのプラグインとしても使用できます。

• スタンドアロンは独立したプログラムでプログラムのアイコンをクリックして開くことができます。

スタンドアロン版を起動する方法:

Windowsコンピューターの場合:[スタート]メニューまたはプログラムのショートカットを使用します。 Macコンピューターの場合:[アプリケーション]フォルダーからアプリを起動します。

• プラグインは、Photoshop等のフォトエディターのアドオンとして動作します。

プラグイン版を呼び出すには、イメージエディターのフィルターから選択します。

ワークスペースのビューは、コントロールパネルで簡易モード、または詳細モードのどちらを選ぶかで異なります。

簡易モードは、非常にシンプルなインタフェースと最低限のツールだけである程度の結果を短時間で得ることができます。



AKVIS LightShopのワークスペース(簡易モード)

詳細モードでは、すべてのパネル、オプション、ツールが使用できます。一時的に表示されるパネルのドラッグやワークスペースのカスタマイズもできます。



AKVIS LightShopのワークスペース(詳細モード)

プログラムのワークスペースの大部分を占める**イメージウィンドウ**の上部には、以下のコントロール(ボタン)を含む**コントロールパネル**があります。

:AKVIS LightShopのホームページに移動します。

🔄 : [新規画像]ダイアログボックスが開きます(スタンドアロン版のみ)。この操作に対するホットキーは、Windows の場

合 Ctrl + N キー、Mac の場合 H + N キーです。

このボタンを右クリックすると、最近使用したファイルの一覧が表示されます。表示するファイル数をプログラムの[環境設定]で変更する こともできます。

・処理したイメージをディスクに保存します(スタンドアロン版のみ)。この操作に対するホットキーは、Windowsの場

合Ctrl+sキー、Macの場合 H+sキーです。

(この操作に対するホットキーは、Windows の場合Ctrl + Pキー、Mac の場合 H + Pキー、Mac の場合 H + Pキー、Mac の

🎦 : プログラムから,等のソーシャル ネットワークに写真を投稿して共有できます。

・各ツール を使って行った最後の操作を取り消します。連続した複数の操作を取り消すことが可能です。この操作に対するホット キーは、Windowsの場合Ctrl+Zキー、Macの場合出+Zキーです。

■●●・最後に取り消した操作をもう一度やり直します。連続した複数の操作をやり直すことが可能です。この操作に対するホットキーは、Windowsの場合Ctrl+Tキー、Macの場合 ス+Tキーです。

▶️ 【:背景画像の表示/非表示を切り替えます。背景画像が非表示の場合、ライト効果は透明な背景に表示されます。

🛐:保護された選択、つまり光の効果の適用を除外されている領域の表示/非表示を切り替えます(詳細モードのみ)。

′ 🌑 :ボタンで光のエフェクトを 表示/隠す ことで、最初の画像と編集後を比較できます。

(詳細モードのみ): クリックすると、プログラムのワークスペースと保存されたわアークスペースの一覧を管理するためのメニューが 表示されます。メニューには、パネルを移動してワークスペースのカスタマイズ、保存、切り替えを行うためのコマンドがあります。 リセット: ワークスペースをプログラム起動時の状態にレストアします。

既定値: プログラムのワークスペースを既定値にレストアします。

保存: ワークスペースの現在の状態を保存します。

削除: 選択したワークスペースを削除します。

🅢 :変換結果をイメージに適用し、プログラムを閉じます(プラグイン版のみ)。

:バージョン情報を開きます。

):ヘルプファイルを呼び出します。この操作に対するホットキーはF1です。

3: プログラムの環境設定を変更するための[環境設定] ダイアログボックスを開きます。

: このボタンは、LightShopに関する最新ニュースを表示するウィンドウを開きます。

固定されたパネル以外に、一時的に表示されるパネルとして、ナビゲータ、ツールバー、効果、効果パラメータ、要素、要素のプロパティ、 ツールオプション、ヒントの各パネルがあります。詳細モードでは、上記のすべてのパネルが利用でき、ドラッグして位置ヲ自由に変更したり、 他のパネルと合体させたり、拡大/縮小させたりできます。簡易モードでは、表示されないパネルもあります。

イメージをナビゲートしたり、拡大/縮小するには**ナビゲータ**を使用します。ナビゲータの赤枠で囲まれた領域は、現在イメージ ウィンドウに表 示されている領域です。赤枠の外はグレー表示になり、イメージ ウィンドウに表示されません。赤枠をドラッグすると画像の表示領域を変更でき ます。赤枠を移動させるには、マウスをクリックしたままカーソルをドラッグします。



ナビゲータ

さらに、スクロールバーの使用、キーボードのスペースバーとマウスをクリックしたままイメージをドラッグすることで、**イメージウィンドウ**内に表示され るイメージを変えることができます。マウスのスクロールホイールを使うとイメージは上下に動き、Ctrl (Macでは 田)を押しながらの場合は左 右に動き、Altキー (Macでは Option)を押しながらの場合は拡大/縮小されます。スクロールバーを右クリックすると、クイックナビゲーショ ンメニューが表示されます。

スライダまたは 🕣 や 😑 を使用し、**イメージウィンドウ**内のイメージを拡大/縮小できます。 🕁 をクリックするか、スライダを右に動かすと、イメージは拡大されます。 🕞 をクリックするか、スライダを左に動かすと、イメージは縮小されます。

さらに、拡大/縮小率の欄に値を入力して Enter (Macでは Return)を押し、イメージの倍率を変更できます。よく使用する倍率の値は ドロップダウンメニューにも用意されています。

ホットキーを使用して、画像を拡大/縮小することもできます。拡大する場合は + および Ctrl ++ (Macでは エ++)、縮小する場合 は- および Ctrl +- (Macでは エ+-)を使用します。

ヒントパネルには、カーソルが指しているパラメータやボタンの説明が表示されます。

## 操作方法

>AKVIS LightShopは、スタンドアロンプログラムとして、またフォトエディタのプラグインとしても使用できます。

画像に光の効果を適用するには、以下の手順を実行します。

ステップ1: 画像を読み込みます。

スタンドアロン版で作業する場合:

[ファイルを開く]ダイアログボックスを開くには、空のワークスペースをダブルクリックするか、 ボタンをクリックします。使用可能なホットキーは、Windows の場合 Ctrl + 0キー、Mac の場合 田 + 0キーです。 ワークスペースにイメージをドラッグすることもできます。 スタンドアロン版は、BMP、JPEG、RAW、PNG、TIFFファイル フォーマットをサポートしています。

プラグイン版で作業する場合:

使用するフォトエディターの[ファイル] > [開く]コマンドを使用して画像を開きます。

その後、フォトエディタの[フィルタ(または効果)]メニューからAKVIS LightShop プラグインを呼び出します。

AliveColorsの場合、[効果] > [AKVIS] > [LightShop]; Adobe Photoshopの場合、[フィルタ] > [AKVIS] > [LightShop]、 Corel Paint Shop Proの場合、[効果] > [プラグイン] > [AKVIS] > [LightShop]、 Corel Photo-Paintの場合、[効果] > [AKVIS] > [LightShop]をそれぞれ選択します。

ステップ2: プログラムを最初に起動したときは、シンプルなインタフェースと最低限のツールだけである程度の結果を得られる簡易モードです。



AKVIS LightShopワークスペース (簡易モード)

上級ユーザ用に、詳細モードも準備されています。コントロールパネルの [詳細]をクリックしてモードを切り替えると、インタフェースが 変わり、プログラムのすべての機能へのアクセスが可能になります。



AKVIS LightShop ワークスペース (詳細モード)

ステップ3: 効果パネルでは、用意されているプリセットのライト効果から選択するか、オリジナルの効果を作成できます。 ステップ4: 画像に色とりどりに輝く星くずを追加するには、輝きブラシケクを使用します。

ステップ6: イメージを共有するには、() をクリックします。画像を公開可能なサービスの一覧が表示されます。サービスには、が含まれます。

**よ11より**。

スタンドアロン版では、印刷を行うこともでき、その場合は、

ステップ7:結果を保存します。

- スタンドアロン版で作業する場合:



をクリックすると、**[名前をつけて保存]**ダイアログボックスが開きます。ファイル名を入力し、ファイルの種類(TIFF、

BMP、JPEG、PNG)を選択し、保存先フォルダを選択します。

- プラグイン版で作業する場合:

をクリックして適用します。AKVIS LightShopプラグインが終了し、画像がフォトエディタのワークスペースに表示されます。

[ファイル] > [名前をつけて保存]コマンドを使用して[名前を付けて保存]ダイアログボックスを開き、ファイル名の入力、ファイルの種類の選択、保存先フォルダの指定を行ないます。



ライト効果

注意:透明な背景にライト効果を適用するには、背景画像を隠し 、 その後結果を適用/保存します。スタンドアロン版ご使用の場合は、PNG形式を使います。

#### 光の効果

AKVIS LightShop を使うと、素晴らしい光の効果を作成できます。

**効果** パネルには、"すぐに使える"光の効果のプリセットが用意されています。初期状態のまま適用することも、修正することも可能です。まず は、用意されている効果で練習し、それから独自の効果を作成すると良いでしょう。



効果パネル

効果パネルの下部にあるボタンを使って以下の操作ができます。

効果パネルの表示をカスタマイズするには、 📰 をクリックして、オプション(大/小のアイコン)から選択します。

すべてのグループを折りたたむには、

選択した効果を画像に適用するには、効果をダブルクリックするか、パネルの下部にある のボタンを使用します。すべての効果を変形 ツール で定義した同じ位置に同じ大きさで適用するには、パネル上部の[位置のロック]チェックボックスを有効にします。

新しい効果を保存するには、 💽 をクリックし、グループと名前を指定します。

プログラムに効果をインポートする場合は、 💽 をクリックし、 xml ファイルを選択します。

新しいグループを作成するには、 ppをクリックします。

効果、またはグループ名を変更するには、国語をクリックし、新しい名前を入力します。

選択した効果またはグループを削除するには、 epリックするか、このアイコンに効果/グループをドラッグします。さらに、 Delete キーを使用することもできます。

注意: ♀ マークがついた効果の上書き、削除、名前の変更はできません(AKVIS 光効果としてビルトインされているため)。 すべてのコマンドは、パネル内を右クリックしても表示できます。

#### 光の効果の作成

プログラムは、すぐに使える**光の効果**のプリセットが豊富に用意されています。効果はそのまま適用することもできますが、微調整して適用する こともできます。プリセットを微調整して、オリジナルの効果を作成し保存することもできます。

それぞれの光の効果は、シンプルな要素が幾つか組み合わさって、構成されています。光の効果を作成するには、幾つかの要素を組み合わせ、位置やパラメータを調整します。



効果パネル

光の効果を作成するには、以下の手順を実行します。

ステップ1: プログラムに画像が読み込まれると、画像ウィンドウには、最後に使用した効果が表示されます。

別の効果を選択する場合は、効果パネルで効果をダブルクリックして選択するか、パネルの下部にある 🌑 アイコンをクリックします。

効果の表示方法をカスタマイズすることができます。 📰 をクリックし、オプションから選択します(小さいアイコン化大きなアイコン)。

ステップ2: 要素パネルでは、光の効果を構成する要素を編集します。

要素を追加、削除、表示/非表示、上下に移動することができます。

ステップ3: 選択要素のパラメータの調整は、要素プロパティパネルで行います。すべての変更は、リアルタイムで画像に適用されます。

ステップ4:効果そのものを調整するには、効果パラメータとに、を使用します。

**ステップ5:** 光の効果を将来また利用する場合に備えて、効果 リストに保存することができます。保存することで、簡単に呼び出して、 そのまま適用したり、微調整を加えて新しい効果を作成したりできます。

プリセットを保存するには、 💽 をクリックします。 グループ、名前、保存先のパスを指定します。

注意: ビルトインのAKVIS 光の効果は、ロックされ( 🔒 が表示され)ているので、上書きできません。

プログラムに効果をインポートする場合は、 主 をクリックし、xml ファイルを選択します。効果は、現在選択しているグループに追加されます。

新しいグループを作成するには、 💼をクリックします。 効果を別のグループにドラッグすることもできます。

すべてのコマンドは、効果パネル内を右クリックしても表示できます。

# 効果パラメータ

効果パラメータパネルでは、要素全体を含む効果全体の設定を変更できます。

効果	パラメータ	$\bigtriangledown$
透過度	!	100 ‡
ブレンド	モード	加算
明るさ		100 ‡
色	グロー 🗌	ולסב) 🗾 אם-
	既定値	変形のリセット

それぞれのパラメータを詳しく見ていくことにしましょう。

透過度 (設定可能値が1から100):光の効果の透過度の設定を行うことができます。デフォルトの値が100になっていますので、光の 効果は半透明/透明ではありません。パラメータの値を少しずつ下げていくと、光の効果は徐々に半透明になります。







透過度 = 100

**ブレンドモード**: 光の効果が画像とどのようにブレンドするかを指定できます。7種類のブレンドモードが用意されていますが、デフォルトでは、効果について通過モード、要素と輝きブラシについては通常モードに設定されています。

通過:効果内にあるすべての要素は相互に、また背景画像と影響し合いますが、その際に、要素プロパティパネルで指定してブレンドモードが使用されます。



通常:光の効果はそのまま画像に適用されます。



**加算**: 光の効果と画像の色と透過度はまとめられます。黒い背景に光の効果を適用した場合、元の色に変化はありません。 白い背景に光の効果を適用した場合、元の色はすべて白になります。それ以外の色に光の効果を適用した場合、光の効果 の色は薄くなります。



**乗算**: 光の効果と画像の色と透過度は掛け合わされます。そのため、光の効果の色は濃く(暗く)なります。どんな色でも黒と掛け合わせると黒になります。一方、白と掛け合わせた場合、色の変化はなく、元の色のままです。



**スクリーン: 乗算**の逆のモードです。光の効果と画像の色の値が反転された状態で掛け合わされます。結果として、色は常に 明るくなり、背景の黒は光の効果の色に影響を与えることはなく、白はすべての色を白に変換します。



オーバーレイ: 画像と光の効果のピクセルの明るさの違いによって使用する色の算方法は異なります。画像のほうは光の効果 より明るい場合はスクリーン モードが使用され、光の効果のほうが明るい場合は乗算モードが使用されます。このモードの中 間色は、-50%のグレーです。



**比較(明)**: 画像と光の効果の2つの色のそれぞれのチャンネル(RGB)で一番高い値のものを使用して色が作成されます。 光の効果の色の方が画像の色よりも薄い場合には変化がありません。一方、光の効果の色の方が濃い場合には、画像のピ クセルが光の効果のものと置き換えられます。このモードの中間色は黒で、白に光の効果を適用すると白くなります。



明るさ (設定可能値が1から200): 光の効果の透過度の設定を行うことができます。効果のグローやハローの大きさにも影響しま す。 デフォルトでは、100に設定されていますが、値を100以上に設定するとたり明るくなり、100以下に設定すると明るさが減少して暗くな

デフォルトでは、100に設定されていますが、値を100以上に設定するとより明るくなり、100以下に設定すると明るさが減少して暗くなります。



明るさ = 50

明るさ = 150

**色**: 効果を構成するすべての要素のデフォルトの色を指定します。[グロー] は要素の中心の色を、[ハロー] はその周り(輪郭)の色 を指しています。

[色の選択] ダイアログボックスから色を選択する場合、まず、パレットをダブルクリックします。画像内や適用した光の効果から色を持っ てくる場合は、パレットをクリックしてスポイトツールを呼び出します。



デフォルトの色

変更後の色

注意:[明るさ]と[色]のパラメータは、ハロー、光の点、楕円形の光の点の3つの要素では変更できません。

パラメータをデフォルトの値に戻すには、[既定値]をクリックします。

[変形のリセット]をクリックすると、変形ツールを使った変更はすべてリセットされます。

## ツールバー

AKVIS LightShop の ツールパーには、ライト効果のツールと、その他のツールが含まれます。各ツールのオプションは、ツールオプション パネルと画像を右クリックして表示されるポップアップボックスに表示されます。

ライト効果ツール

変形ツール を使って光の効果の変形や移動を行うことができます。



効果の変形

画像上に表示されるマーカを使って、効果領域の編集を行います。

- 円の中心が光源の位置を指しています。円の上にカーソルを移動させると、カーソルが両方向の矢印↔ に変化するので、 ドラッグして要素全体のサイズを変更します。

- 光源の位置を移動させるには、円の内部にマウスを移動させ十字の矢印+++に変化した状態でドラッグします。

- 円上の丸をドラッグして、効果のすべての要素を 拡大/縮小します。

- 効果を回転させるには、円上の四角にマウスを移動させ、曲線の両方向矢印 🗸 に変化した状態でドラッグします。

- 円の中興から伸びる直線は、ハローやグレアの表示方向、要素の移動方向を示しています。ラインをドラッグ ↓ して効果 全体を移動させることができます。

- 直線の最終点では、直線を円の周りを回転させて方向を変更したり、長さを変更したりできます。

変更のリセットやマーカを元の状態に戻すには、画像内を右クリックして表示されるメニューのコマンド、変形のリセット、倍率のリセット、位置のリセット、比率のリセット、角度のリセットを使用します。また、効果パラメータ 内にある [変形のリセット]ボタンを使用することもできます。

輝きブラシ 📈 を使って、画像に色とりどりの星くずを追加することができます。ツールの詳細はこちら。



消しゴムツール(星) 😿 を使うと星を削除できます。

注意! このツールは、Home Deluxe版とBusiness版ライセンスの詳細モードでのみ使用できます。

保護領域の表示/非表示を切り替えるには、コントロールパネルの アンボタンを使います。これらの領域が表示される場合の表示方法を以下のオプションがら選択します。

**塗りつぶし**:選択領域の塗りつぶし色は、デフォルトで赤に設定されています。色を変更するには、パレットをダブルクリックし、 [色の選択] ダイアログを使用します。

チェス模様:選択領域が白と黒のチェス盤のような模様になります。

透過度: ツールで指定した領域の透過度を指定します。

![](_page_31_Picture_9.jpeg)

消しゴムツール ()は、除外領域の編集を行うことができます。

すべてのツールに共通なオプションの調整

サイズは、ツールの直径を指定して大きさを変えることができます。

硬さは、ツールのエッジ部分の鮮明度を調整します。値が低いほど、ツールのエッジ部分はぼかしがかかったものになります。
 強度は、ツールの効果の強さを調整します。

間隔は、ブラシで描くラインの各要素の間隔を調整します。

ツールでブレのない直線を描く場合は、Shift キーを使用します。

その他のツール:

**手のひら**ツール し、画像を動かしてイメージウィンドウに表示されていない部分を表示できます。実際にツールを使用するには、画像上でクリックしたままドラッグして表示画像を動かします。

**ツールバ**ー上にあるツールのアイコン () をダブルクリックすると、イメージは、**イメージウィンドウ**に合わせたサイズで表示されます。

**ズーム**ツール を使って画像の拡大/縮小を行います。クリックすると、ズームイン(拡大)します。 Alt キーを押しながらクリックする と、ズームアウト(縮小)します。 Z キーを押すとキーを押すと、クリックなしで、ズームツールに切り換えられます。

さらに、簡易モードのツールバー に表示される / 「」「ボタンを使うと、効果 パネルの表示/非表示を切り替えることができます。詳細 モードでは、マウスを使って、すべてのパネルをドラッグして最小化することができます。

# 輝きブラシ

輝きブラシ 😾 は、様々な色、形、サイズの輝きを画像に追加できます。

![](_page_33_Picture_3.jpeg)

満天の星

追加する要素の見た目をカスタマイズするには、ツールオプションパネルにある以下のオプションを使用します。

レイヤーパラメーター: これらのパラメーターは、輝きブラシ が適用されるレイヤーを変えることができます。

透過度 (設定可能範囲は 1-100): 適用される光の粒子の背景がどの程度透けて見えるかを調整します。 プレンドモード: 背景画像とどのようにブレンドするかを、ドロップダウン メニューから選択します。ブレンドモードに関する詳細はこちら。

要素パラメーター: 輝きブラシで追加した光の粒子に関するオプションが含まれるグループです。これらの設定を調整後にブラシを使って描きます。

形:ドロップダウンリストの中から形を選択します。選択可能な形は、星、ハート、花、バラ、多角形です。

**ヒント:** ハート、花、バラ、多角形の形は、Home Deluxe と Business 版ライセンスでのみ利用できます。

![](_page_33_Picture_11.jpeg)

**色**: 主に使用される色を指定します。パレット上をダブルクリックし、[色の選択]ダイアログボックスから色を選択します。

![](_page_34_Picture_1.jpeg)

黄色い星

青い星

サイズ (設定可能範囲は 5-100): 光の粒子の大きさを設定します。

![](_page_34_Picture_5.jpeg)

サイズ = 50

# [全般]タブ:

回転 (設定可能範囲は -90 から 90): すべての光の粒子の回転角度を指定します。

![](_page_34_Picture_9.jpeg)

回転 = 0

回転 = 30

**滑らかさ**(設定可能範囲は10-40):値を低く設定すると、光の粒子のエッジ部分は鮮明ではっきりと表示されます。値が高いと、 エッジ部分がよりぼんやりとしたものになります。

![](_page_34_Picture_13.jpeg)

滑らかさ = 15

![](_page_34_Picture_15.jpeg)

滑らかさ = 30

ランダムカラー (設定可能範囲は 0-100): 0 に設定した場合、光の粒子は単色で表示されます。値を高く設定することで、様々

な色の光の粒子が表示されます。

![](_page_35_Picture_2.jpeg)

![](_page_35_Figure_3.jpeg)

ランダム カラー = 75

**ランダム サイズ**(設定可能範囲は 0-100): [サイズ]で指定したサイズを基準として、異なる大きさの光の粒子を作成する際の幅 を調整します。0 に設定されている場合、すべての光の粒子は同じ大きさになります。値を高くする程、大きさのばらつきの幅が大きくな ります。

![](_page_35_Figure_6.jpeg)

ランダム サイズ = 20

![](_page_35_Picture_8.jpeg)

ランダム サイズ = 90

ランダムに回転(設定可能範囲は 0-45): ランダムに回転させる場合に、角度の差の最大値を指定します。

![](_page_35_Picture_11.jpeg)

ランダムに回転 = 15

![](_page_35_Picture_13.jpeg)

ランダムに回転 = 45

[追加]タブ (のパラメーターは、形が星の時には使用できません):

**塗りつぶしの種類**:塗りつぶしの種類をドロップダウンリストから選択します。選択できる種類は、全体、鮮明な輪郭、ぼかした輪郭 のいずれかです。

[全体]オプションを選択した場合、要素全体が選択した色で塗りつぶされます。鮮明な輪郭、ぼかした輪郭のいずれかを選択した場合は、要素の輪郭のみが表示されます。
**AKVIS Lightshop** 



塗りつぶし (全体)

塗りつぶし (鮮明な輪郭線)

**ぼかし**(設定可能範囲は 10-100): パラメーターの値を上げるほど、光の粒子はぼかしがかかります。塗りつぶしの種類で[輪郭]を 選択した場合、輪郭は細くなります。



ぼかし = 25 塗りつぶしの種類 = 全体



ぼかし = 75 塗りつぶしの種類 = 全体



ぼかし = 25 塗りつぶしの種類 = ぼかした輪郭



ぼかし = 75 塗りつぶしの種類 = ぼかした輪郭

グロー (設定可能範囲は 0-100): パラメーターの値を上げると、光りの粒子の明るさが増していきます。



グロー = 10

グロー = 60

パターン (設定可能範囲は 1-11): このパラメーターは、形を花、バラ、多角形 のいずれかを選択している場合に使用できます。 花びらの枚数、バラの形、多角形の辺の数を変更できます。



変形 (設定可能範囲は -50 から 50): パラメーター値が 0 以上の場合、辺が外側に湾曲し、最終的には丸に近い図形になります。パラメーターの値が 0 以下の場合、辺が内側に湾曲していき、最終的には星のようになります。このパラメーターは、形が多角形 の場合にのみ有効です。



変形 = -30

消しゴムツール 😿 を使って、描いた光の粒子を編集/削除できます。

# プログラムの環境設定

📆 [環境設定]ダイアログボックスを開きます。[環境設定]ダイアログボックスは次のように構成されています。

環境設定		
言語	日本語	•
インターフェイスの拡大/縮小	自動	-
インターフェイス テーマ	明るい	-
初期の比率 🖲 画面に合わせる 🔘 100%		
最近使ったファイル 10 ≑		
□ OS 指定のダイアログボックスを使用		
🗹 コントロールパネルを常に表示		
OK キャンセル	Į	既定値

- 言語: ドロップダウン メニューから目的の言語を選択して変更します。
- インターフェイスの拡大/縮小:インターフェイス要素のサイズを選択します。自動に設定されている場合、ワークスペースは、自動的 に画面の解像度に合わせて拡大/縮小されます。
- インターフェイステーマ:インターフェイスのテーマを選択します。明るい、グレーまたは暗いの3種類のテーマがあります。
- 初期の比率: このパラメータは、開いたイメージをイメージウィンドウに拡大/縮小する方法を設定します。このパラメータは2つの値のいずれかを設定します。
  - [画面に合わせる]: イメージウィンドウに全体が表示されるように、拡大/縮小が調整されます。
  - [100%]: イメージは拡大/縮小されません。[100%]に設定すると、ほとんどの場合イメージの一部だけが見える状態で 表示されます。
- 最近使ったファイル (スタンドアロン版のみ): 最近使ったファイルの表示数を指定します。最近使ったファイルの一覧は、最も最近使ったファイルが一番上に来るよう順番に表示されます。この一覧は、 を右クリックすると表示されます。設定可能な最大ファイル数

は、30ファイルです。

- OS指定のダイアログボックスを使用チェックボックス:オンにすると、システム指定のダイアログボックス(開く/保存)を使用できます。デフォルトではAKVIS File Dialogに設定されています。
- [コントロールパネルを常に表示]チェックボックス:トップパネルの表示/非表示の切り替えができなくなります。このチェックボックスをオンにすると、パネルは常に表示されます。

[環境設定]ウィンドウでの変更内容を保存するには、[OK]をクリックします。

既定値に戻す場合は[既定値]をクリックします。

#### 印刷

AKVIS LightShop のスタンドアロン版では、イメージを印刷することもできます。 でする「印刷]オプションが表示されます。



AKVIS

設定パネルのパラメーターを調整します。

リストからプリンターを選択肢、希望の解像度と部数を指定します。

[印刷の向き]では、紙の方向を設定します。縦または横から選択します。

[ページ設定]をクリックして表示されるダイアログボックスでは、用紙サイズ、印刷の向き、余白などの設定を行うことができます。

[余白のリセット]をクリックすると、ページのマージンをデフォルトの設定値に戻すことができます。

イメージの印刷サイズを変更するには、【比率】、【幅】、【高さ】、【ページに合わせる】等のパラメーターを調整します。これらは印刷にのみ影響するものであり、イメージ自体には影響しません。印刷するイメージのサイズ変更を行うには、【比率】に値を直接入力するか、【幅】 と【高さ】に値を入力します。

イメージサイズを用紙に合わせる場合は、[ページに合わせる]チェックボックスをオンにします。

ページ上のイメージをマウスで動かしたり、矢印キーを使って揃えたりできます。

[枠]を有効にし、枠の幅や色を指定できます。

色パレットをクリックして、[背景色]を変更できます。

[ページ] タブでは、1枚にイメージを複数印刷するための設定を行うことができます。



ページの印刷

- [割り付け]: 1ページに画像を何枚印刷するかを指定します。
- [水平方向] と [垂直方向]: これらの数は、それぞれイメージの行と列の数を意味します。
- [間隔]: イメージ同士の間隔を指定します。

[ポスター] タブでは、大きな画像を複数のページに分け、それぞれの結合部分とともに印刷することができます。



ポスター印刷

- 【ページ】: チェックボックスがオンの場合、イメージを何枚に分けて印刷するかを指定できます。この設定に応じて、イメージの 拡大率が調整されます。チェックボックスがオフの場合、プログラムが実際のサイズに応じて、自動的に最適枚数を選択してくれ ます。
- [のりしろ]: チェックボックスがオンの場合、ページの結合部分ののりしろの幅を指定できます。のりしろはページの右側と下部に 追加されます。
- [切り取り線]: チェックボックスがオンの場合、余白に切り取り線を表示させることができます。
- [ページ番号の表示]: チェックボックスがオンの場合、行と列の番号が余白部分に表示されます。

指定したパラメーターでイメージを印刷するには、**[印刷]**ボタンをクリックします。 変更をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じるには、**[キャンセル]**をクリックします。

#### 光の効果の要素

すべての光の効果は、それぞれのパラメータを持つ要素で構成されています。**詳細**モードで表示される**要素**パネル内の効果の構造を編集す ることができます。



パネル下部のボタンを使用することができます。同じコマンドは、パネル内を右クリックしたときにも表示されます。

新しい要素を追加する場合は、

をクリックし、ドロップダウンリストから選択します。新たに追加した要素は、要素パネル内の選択されている要素のすぐ上に追加され、イメージ ウィンドウにも表示されます。

選択(編集可能)要素は、追加した要素の一覧内でグレーにハイライトされます。選択要素のパラメータは、**要素プロパティ**パネルで 編集可能です。

要素をコピーする場合に、「かをクリックします。要素のコピーは、元の要素のすぐ上に追加されます。

▲と のボタンを使って、一覧内での要素の位置を変えることができます(上下に1段ずつ)。 リスト内の順番(位置)は、効果の各要素の状態(位置)に対応しています。リストの上部は最善面に近く、リスト下部は最背面(背景)に近くなります。

要素の順番は、上下にドラッグすることでも変更できます。

視覚化インディケータ●/● を使うと、イメージ ウィンドウ内要素の表示/非表示を切り替えられます。非表示の要素のパラメータは無効(編集不能)になります。インディケータをクリックすることで視覚化を切り替えられます。 選択要素を削除するには、 ● をクリックします。要素をこのアイコンにドラッグすることもできますし、 Delete キーを使うこともできます。 クリア:要素を全て削除。 選択要素のパラメータを要素プロパティパネルで調整します。これらの設定は、ほとんどの要素で共通しています。

位置/サイス: このグループには、光の効果の位置やサイズを調整するためのパラメータが含まれます。

シフト (設定可能値が-200から200): 🔤がアクティブな場合に表示される直線に沿って、要素の位置を変更できます。



シフト = 100

シフト = -100





回転(設定可能値が0から359):要素を指定した角度で回転させます。



**色**: このグループのパラメータには、選択要素の色や透過度の変更に加え、下層の要素とのブレンドモードに関するオプションも含まれます。

透過度 (設定可能値が1から100): 要素の透過度を変更することにより、下層の要素や背景画像が透けて見えるようになります。 値が低いほど、透明度も高まります。



透過度 = 25

透過度 = 75

**ブレンドモード**:要素が下層の要素とどのようにブレンドするか、ドロップダウンリストからブレンドモードを選択します。デフォルトでは、**通**常モードが選択されています。ブレンドモードに関する詳細はこちら。



ブレンドモード: 通常

ブレンドモード: 加算

明るさ (設定可能値が1から200): 輝き(グロー)の強さを指定します。値が低いと、淡い輝きになります。値を高くすると、輝きが増し、明るく輝く効果になります。





明るさ = 150

**色**: それぞれの要素に対して、2種類の色 (**グローとハロー**)を指定できます。デフォルトでは、カラーパレットは空なので、**効果パラ** メータで指定されている色が使用されます。

[色の選択]ダイアログボックスから色を選択する場合、まず、パレットをダブルクリックします。 画像内や適用した光の効果から色を持ってくる場合は、パレットをクリックしてスポイトツールを呼び出します。パレットをリセットするには、右クリックします。



グローの色 = 白 ハローの色 = オレンジ

グローの色 = 黄色 ハローの色 = 赤

特殊パラメータ:これまでに紹介してきたパラメータに加え、各要素独自の特殊設定があります。詳細は、要素に関する説明のページをご覧く ださい。

光の効果の要素:リング

リングは光の環の形をした要素です。



レールを使って、光の効果を変形できます。要素のプロパティパネルでは、要素の位置/サイズや色を変更できます。

さらに、リンク独自の以下の特殊パラメータも調整できます。

リングの幅 (設定可能値が1から100): 光の環の幅を調整します。







リングの幅 = 25

ハロー幅(設定可能値が1から100):値を上げると、光の環の周りのハローの幅を太くすることができます。



ハロー幅 = 10



ハロー幅 = 50

強度(設定可能値が5から75):ハローの明るさと要素のエッジ部分の鮮明度を調整することができます。



強度 = 10



強度 = 40

### 光の効果の要素:多角形

多角形は、正多角形の形をした光の効果の要素です。



▶ ツールを使って、光の効果を変形できます。要素のプロパティパネルでは、要素の位置/サイズや色を変更できます。

さらに、多角形独自の以下の特殊パラメータも調整できます。

サイド (設定可能値が3から10):辺の数、つまりどんな多角形かを指定します(三角形から十角形まで)。



サイド = 5

ハロー幅(設定可能値が1から200):値を上げると、要素の周りのハローの幅を太くすることができます。



ハロー幅 = 25





強度(設定可能値が5から75):ハローの明るさと要素のエッジ部分の鮮明度を調整することができます。



強度 = 10



強度 = 50

### 光の効果の要素:光のストライプ

光のストライプは、光が直線の形に伸びている光の要素です。



▶→ ツールを使って、光の効果を変形できます。**要素のプロパティ**パネルでは、要素の位置/サイズや色を変更できます。

さらに、光のストライプ独自の以下の特殊パラメータも調整できます。









強度 = 10

強度 = 40

ハーフ:チェックボックスをオンにすると、要素の半分のみが表示されます。



ストライプ



ストライプ(ハーフ)

# 光の効果の要素: ビーム

ビームは、1点で交わる光り輝く複数のラインからなる要素です。



▶→ ツールを使って、光の効果を変形できます。要素のプロパティパネルでは、要素の位置/サイズや色を変更できます。

さらに、ビーム独自の以下の特殊パラメータも調整できます。

ライン (設定可能値が2から100):ラインの数を指定します。



ライン = 5

ライン = 25

**ランダムな長さ**(設定可能値が0から100):ラインの長さの範囲を指定します。最小値ではすべてのラインの長さが等しくなります。値を上げるにつれ、ラインの一番長いものと一番短いものの長さの差が大きくなっていきます。



ランダムな長さ = 0

ランダムな長さ = 50

ランダムな角度:チェックボックスをオフにすると、ラインの感覚(角度)は一定になりますが、オンにした場合、感覚(角度)はランダムになります。



ハロー幅(設定可能値が1から100):値を上げると、要素の周りのハローの幅を太くすることができます。



ハロー幅 = 10

ハロー幅 = 50

**強度**(設定可能値が5から75):ハローの明るさと要素のエッジ部分の鮮明度を調整することができます。



開始値 (設定可能値が0から999):これは要素内のラインの分布を定義する、乱数生成の基となる値です。それぞれの値はラインの 分布を他にないユニークな仕方で生成します。

### 光の効果の要素:粒子

粒子は、ある一点から外に向かって複数の粒子が飛び出すような形の要素です。



さらに、粒子独自の以下の特殊パラメータも調整できます。

要素サイズ(設定可能値が1から200):要素のサイズを変更します。





要素サイズ = 120

粒子(設定可能値が1から100):光り輝く粒子の数を指定します。値を1つ上げる後ごとに10個の粒子が追加されます。



粒子 = 10



粒子 = 50

**粒子の長さ**(設定可能値が1から100):粒子の長さの最大値を指定します。それぞれの粒子は様々な長さですが、ここで指定する 長さを超えることはありません。



**ランダムな長さ** (設定可能値が0から100):粒子の長さの範囲を指定します。値を上げるにつれ、粒子の一番長いものと一番短いものの長さの差が大きくなっていきます。



ランダムな長さ = 10

ランダムな長さ = 100

ハロー幅(設定可能値が1から100):値を上げると、要素の周りのハローの幅を太くすることができます。



ハロー幅 = 30

ハロー幅 = 80

開始値 (設定可能値が0から999):これは要素内の粒子の分布を定義する、乱数生成の基となる値です。それぞれの値は粒子の 分布を他にないユニークな仕方で生成します。

### 光の効果の要素: 星の爆発

星の爆発は、星からランダムに光線が出ており、光線の先端はとがった形状をしています。



▶→ ツールを使って、光の効果を変形できます。要素のプロパティパネルでは、要素の位置/サイズや色を変更できます。

さらに、星の爆発独自の以下の特殊パラメータも調整できます。

光線(設定可能値が1から128):星から出ている光線の数を指定します。



光線の長さ (設定可能値が10から200):光線の長さの最大値を指定します。それぞれの光線は様々な長さですが、ここで指定す る長さを超えることはありません。





光線の長さ = 120

ランダムな長さ (設定可能値が0から100):光線の長さの範囲を指定します。値を上げるにつれ、光線の一番長いものと一番短い ものの長さの差が大きくなっていきます。





ランダムな長さ = 75

光線幅(設定可能値が10から100):光線の幅を指定します。



光線幅 = 25



光線幅 = 75

開始値 (設定可能値が0から999):これは要素内の光線の分布を定義する、乱数生成の基となる値です。それぞれの値は光線の 分布を他にないユニークな仕方で生成します。

#### 光の効果の要素:光の爆発

光の爆発は、1つの中心からランダムに伸びる光線からなる光の効果の要素です。



レー・ツールを使って、光の効果を変形できます。要素のプロパティパネルでは、要素の位置/サイズや色を変更できます。

さらに、光の爆発独自の以下の特殊パラメータも調整できます。

光線(設定可能値が1から72):星から出ている光線の数を指定します。



光線の長さ (設定可能値が10から200):光線の長さの最大値を指定します。それぞれの光線は様々な長さですが、ここで指定す る長さを超えることはありません。





光線の長さ = 50

光線の長さ = 150

ランダムな長さ (設定可能値が0から100):光線の長さの範囲を指定します。最小値に設定すると、すべての光線の長さが等しくなります(= すべて光線の長さで指定した長さ)。値を上げるにつれ、光線の一番長いものと一番短いものの長さの差が大きくなっていきます。





ランダムな長さ = 50

 光線幅 = 10

光線幅(設定可能値が1から100):光線の幅を指定します。



光線幅 = 50

中心 (設定可能値が0から5):中心に光り輝く部分を追加できます。値を高くすると、中心部分の明るさが増します。







開始値 (設定可能値が0から999):これは要素内の光線の分布を定義する、乱数生成の基となる値です。それぞれの値は光線の 分布を他にないユニークな仕方で生成します。

# 光の効果の要素:光線

光線は、光る1つの物体から幾つかの光線が徐々に薄くなりながら伸びる要素です。



▶ ツールを使って、光の効果を変形できます。要素のプロパティパネルでは、要素の位置/サイズや色を変更できます。

さらに、光線独自の以下の特殊パラメータも調整できます。

光線(設定可能値が1から48):中心から伸びる光線の数を指定します。





光線 = 10

光線幅 (設定可能値が0から100):星から出ている光線の幅を指定します。 値が高いほど、それぞれの光線内の内部光線との距 離が長くなります。







光線幅 = 75

内部光線 (設定可能値が1から24):各光線の内部にある(構成している)光線の数を指定します。



ハロー幅 (設定可能値が1から100):値を上げると、要素の周りのハローの幅を太くすることができます。





ハロー幅 = 10

ハロー幅 = 50

強度(設定可能値が5から40):ハローの明るさと要素のエッジ部分の鮮明度を調整することができます。



強度 = 5



強度 = 15

# 光の効果の要素: ハロー

ハローは、虹色の光の環の形をした光の効果の要素です。



レージールを使って、光の効果を変形できます。**要素のプロパティ**パネルでは、要素の位置/サイズや色(ブレンドモード)を変更できます。

さらに、ハロー独自の以下の特殊パラメータも調整できます。



直径(設定可能値が10から90):要素のサイズを変更します。

リングの幅 (設定可能値が1から100): 要素を構成する1つ1つの虹色の環の幅を指定します。



リングの幅 = 25



リングの幅 = 75

スペクトルのシフト (設定可能値が0から100): 虹色の環の色の順番を指定します。高い値では中心に向かって、低い値では外側 に向かって色がシフトします。



スペクトルのシフト = 0



スペクトルのシフト = 50

### 光の効果の要素:光の点

光の点は、同一直線上に様々な色の丸や多角形で構成される光の効果の要素です。



ツールを使って、光の効果を変形できます。要素のプロパティパネルでは、要素の位置/サイズや色(ブレンドモード)を変更できます。

さらに、光の点独自の以下の特殊パラメータも調整できます。

点(設定可能値が1から30):要素内の点の数を指定します。





点 = 10

点のサイス (設定可能値が0から100): 点のサイズを変更します。



点のサイズ = 10



点のサイズ = 50

**形** (設定可能値が0から100):要素内の丸と多角形の数(割合)を指定します。0に設定されている場合は、すべての点が丸ですが、値を上げるにつれて多角形の点の数が増えます。最大値ではすべて多角形になります。



密度(設定可能値が1から100):値を高く設定するほど、点と点の間隔が狭くなります。



エッジの鮮明度 (設定可能値が1から100):値が高いほど、エッジ部分は鮮明ではっきり見えるようになります。



エッジの鮮明度 = 10

エッジの鮮明度 = 50

スペクトル (設定可能値が0から100):値が0の時、点は単一色になります。値を上げると、点に色の輪が追加されていきます。値が 高ければ高いほど、それぞれの点に多くの色の輪が表示されます。



フェード (設定可能値が0から100):点の透明度を変更します。大きい点ほど、早く透明になります。



フェード = 5

フェード = 45

開始値 (設定可能値が0から999):これは要素内の点の分布を定義する、乱数生成の基となる値です。それぞれの値は一直線上 の点の分布を他にないユニークな仕方で生成します。

#### 光の効果の要素:楕円形の光の点

楕円形の光の点は、楕円形の形をした光の点(グレア)が一直線上に並んで表示される光の要素です。



さらに、楕円形の光の点独自の以下の特殊パラメータも調整できます。

点(設定可能値が1から20):楕円形の点の数を指定します。

点 = 3





密度(設定可能値が1から100):値を高く設定するほど、点と点の間隔が狭くなります。



密度 = 10



密度 = 90

フェード (設定可能値が2から100):最小値では、楕円形の点のエッジが鮮明です。値が大きくなるほど、エッジがぼかされ、楕円形 自体も小さくなります。



**スペクトル** (設定可能値が0から100):値を上げると、点に色が追加されていきます。値が高ければ高いほど、それぞれの点に多くの 色の輪が追加されていきます。



スペクトル = 5

スペクトル = 50

開始値 (設定可能値が0から999):これは要素内の点の分布を定義する、乱数生成の基となる値です。それぞれの値は一直線上の点の分布を他にないユニークな仕方で生成します。

### 夜空を彩る花火

みんなが自分の生活に忙しくしている町のある夏の夜を想像してみましょう。いつもはバラバラでも、みんなが1つになる日があります。お祭りの 日には、夜空の綺麗な星だけでなく、色鮮やかな花火が夜空を華やかにしてくれます。

AKVIS LightShopを使うと、何の変哲もない1枚の写真をそんなお祭りの日のような写真に変えることができます。



ステップ1. AKVIS LightShopの詳細モードで、要素パネルに切り替え、粒子と星の爆発の2種類の要素を使用して新しい光の効果を作成します。

効果をダウンロードし、ZIPファイルを開き、xmlファイルをプログラムにインポートすることもできます(効果パネルの全を使用) し、自分で効果を作成してもかまいません。



各要素のパラメータを要素プロパティパネルで設定し、その後、効果全体の設定を効果プロパティパネルで設定し、以下のような効果に近づけます。



ステップ2. 輝きブラシ 🙀 を選択し、以下のようにオプションを調整します。

ツール オプション	$\bigtriangledown$
┌ ブラシ パラメーター	
サイズ	1 🗘
強度	100 ‡
間隔	20 ‡
レイヤー バラメーター	
透過度 	100 ÷
ブレンドモード	通常 🔽
星パラメーター	
ー <b>星パラメータ</b> カラー	
ー <b>星パラメータ</b> カラー ランダム カラー	30 🗘
<b>星パラメータ</b> カラー ランダム カラー 星のサイズ	30 ¢
<b>星パラメータ</b> カラー ランダム カラー 星のサイズ ランダム サイズ	30 ¢ 50 ¢ 100 ¢
<b>星パラメータ</b> カラー ランダム カラー 星のサイズ ランダム サイズ 回転	30 ¢ 50 ¢ 100 ¢
<b>星パラメータ</b> カラー ランダム カラー 星のサイズ ランダム サイズ 回転	30 ¢ 50 ¢ 100 ¢
<b>星パラメータ</b> カラー ランダム カラー 星のサイズ ランダム サイズ 回転 ランダム(こ回転	30 ¢ 50 ¢ 100 ¢ 5 ¢
<b>星パラメータ</b> カラー ランダム カラー 星のサイズ ランダム サイズ 回転 ランダム(こ回転 済らかさ	30 ¢ 50 ¢ 100 ¢ 5 ¢ 45 ¢
星パラメータ         カラー         ランダム カラー         星のサイズ         ランダム サイズ         回転         ランダム(こ回転)         滑らかさ	30 ¢ 50 ¢ 100 ¢ 5 ¢ 45 ¢

ブラシを使って、画像に星を追加していきます。粒子の要素の先端に星を追加したり、ランダムに追加したり、花火に近づけるように調整します。



ご結果を保存します。「結果をソース イメージとして使用しますか ?」というメッセージが表示されます。画像を引き続き編集する場合は、【はい】をクリックします。

プラグイン版をお使いの場合、 📈 で結果を適用して、プラグインを再起動します。

ステップ3.画像を様々な部分イ光の効果を追加するには、ステップ1、2を繰り返し行います。効果の大きさと位置を変更するには、 変形ツールを使用します。効果パラメータで別の色を選択します。

各効果の中心要素 (星の爆発)を他の要素、例えば、ビームや光線に変更できます。

ヒント:

効果をプリセットとして保存する場合は、効果パネルの 👥 をクリックします。

xmlファイルには、光の効果のみ保存でき、ブラシで作成した星は保存されません。


ステップ4. 星くずが蛇行しているように見える、様々な色の小さな星からなる曲線を描きます。輝きブラシ がのパラメータは以下の ように設定します。

ツール オプション	$\bigtriangledown$
-ブラシ パラメーター	
サイズ	100 🗘
	0 ‡
└────────────────────────────────────	100 ‡
間隔	20 \$
1 ( ha 18 = 1, h	
- レイヤー ハラメーター 透過度	100 🗘
ブレンドモード j	通常
星パラメーター	
カラー	
ランダム カラー	100 🗘
星のサイズ	10 ÷
ランダム サイズ	0 \$
	5 \$
ランダムに回転	45 ‡
/////////////////////////////////////	27 ‡
既定值	

ブラシで、画像内に幾つか曲線を描きます。**星のサイズ**を大きく設定し、既にある曲線の上から3分の1くらいの長さで曲線を重ねます。

結果はこのようになります。



物足りないと感じる場合、カラフルかつ様々なサイズの星をさらに追加することもできます。

結果として、このような華やかな夜空が出来上がります。



夜空を彩る花火 (画像をクリックして拡大)

# AKVISプログラム

# AKVIS AirBrush - エアブラシを使ったぼかし処理を手軽に適用

(Windows | Mac)

AKVIS AirBrush は、写真をスプレー塗料またはインキをスプレーする特殊なエアブラシツールで作られたように見える芸術作品に自動的 に変換します。ソフトウェアは、選択した写真から絵画への変換設定を使用して、画像からスタイリッシュでカラフルなエアブラシデザインを作成す る芸術的なフィルタとして動作します。詳細情報



#### AKVIS ArtSuite - 写真をオリジナルで華やかに飾ります!

(Windows | Mac)

AKVIS ArtSuite は、写真を飾るための印象的かつ多用途な効果を集めたものです。写真をオリジナルで華やかに飾ります! 友人へ送る ポストカードの作成、旅の思い出アルバムの作成、デスクトップ用の壁紙、または、アート感覚で楽しむためなど、さまざまな場合で必要になる でしょう。本ソフトウェアには、19 以上の基本的な効果が用意されており、効果版を無制限に作成することができます。詳細情報



# <u>AKVIS ArtWork - 写真から絵画を作成しましょう!</u>

(Windows | Mac)

AKVIS ArtWorkは、様々なペイントテクニックを模倣できるよう設計されています。プログラムは、8 種類のペインティングスタイルを提供しています: 油絵、技法、グアッシュ、コミック、ペン & インク、リノカット、パステル、点描。簡単にデジタル写真から名作を作り出すことができます。 詳細情報



# <u>AKVIS Chameleon – フォトコラージュ作成</u>

(Windows | Mac)

AKVIS Chameleon は、挿入した被写体の自動調整、対象のイメージカラー範囲の調整、被写体の境界の円滑化などができる効果 的なツールです。このツールはいくつかの目的に役立ちます: 写真に新しい被写体を挿入したいけれど、従来のツールよりもフレキシブルで簡 単なものがほしい(コラージュ作成),いらない不具合を、イメージの近くのパーツと置き換えて隠したい(クローンツールと類似)。詳細情報



#### AKVIS Charcoal 一簡単なステップで写真が木炭画になります!

(Windows | Mac)

AKVIS Charcoal は、写真を木炭やチョークを使用して描いた絵のように変換することのできる芸術的なツールです。黒と白の著しい違い を使用した材料の統合もできます。色やオプションを使用することによって、素晴らしい芸術的な効果を作り上げることができます。詳細情報



# <u>AKVIS Coloriage – 白黒写真を色付けする</u>

(Windows | Mac)

AKVIS Coloriage で白黒写真に息吹を!

Coloriageを使用すると、白黒写真をカラー写真として蘇らせることができるだけでなく、カラー写真の色を変更して印象を刷新したりすることができます。詳細情報





# <u>AKVIS Decorator - 被写体の模様や色を変更</u>

(Windows | Mac)



AKVIS Decorator は、被写体表面の色や模様を違和感なく変更することができるソフトウェアです。このソフトウェアを使用すると、女性のドレス、車体、家具など、写真の一部を選択して、新しい色や模様を適用することが可能です。詳細情報

# <u>AKVIS Draw - 手書きの鉛筆画への変換</u>

(Windows | Mac)

AKVIS Draw は、デジタル画像から、手書きの鉛筆画やラインアートを作成します! ソフトウェアは非常に使いやすく、ワンクリックで自然な 鉛筆画を作成します。詳細情報



(Windows | Mac)

AKVIS Enhancer は、不鮮明になってしまった原因に関わらず、ディテールを高めることができるイメージ補正ソフトウェアです。本プログラムは、露出が均一ではない写真から露出不足、露出過度、中間調の各領域のディテールを検出します。詳細情報



# AKVIS Frames - フレームパック

(Windows | Mac)

AKVIS Frames は、AKVISフレームパックと共に機能する無料写真校正ソフトウェアです。

このプログラムを使えば、専用の写真フレームであなたの写真を簡単にデコレートすることができます! 詳細情報



# AKVIS HDRFactory - 実際よりも明るい画像に!

(Windows | Mac)

AKVIS HDRFactory では、単一イメージまたは同様のイメージを複数枚を使用して、HDRイメージを作成できます。このプログラムは画像修正を行うために使用することもできます。 AKVIS HDRFactoryで写真に息吹、そしてより鮮やかな色合いを!詳細情報



#### <u>AKVIS LightShop - 光と星の効果</u>

(Windows | Mac)

AKVIS LightShop を使って、無限の光のイメージ効果を作成してみましょう。荒れ模様の空にある光、町を横切るカラフルな虹、雫に映る反射、暖炉の燻っている木の炎、夜空の中で輝く未知のサイン、太陽の揺らめく炎、遠方の惑星の光、花火 - 貴方の想像の限りに!詳細情報



# AKVIS Magnifier — きれいに画像解像度を上げることができます!

(Windows | Mac)

AKVIS Magnifier を使えば、効率的に画像解像度を上げることができます。Magnifierは、先進の拡大アルゴリズムを用い、ポスターサイズ印刷にまで対応できるよう、デジタル画像を驚くほど美しく超高解像度に拡大します。詳細情報



# <u>AKVIS MakeUp - 理想の肖像画を作成しましょう!</u>

(Windows | Mac)

AKVIS MakeUp を使うと、写真に魅力が加わり、プロのような仕上がりが期待できます。

肌に見られるシミなどのレタッチを行い、輝きがあり、美しく、滑らかで、澄んだ肌を作り出します。詳細情報



# AKVIS NatureArt - リアルな自然現象がデジタルアートで再現できる!

(Windows | Mac)

AKVIS NatureArt は、壮大な自然現象をデジタル写真に再現するための素晴らしいツールです。自然の効果は、私たちが受ける印象 に与える影響が大きく、写真からくる印象を強調するために使用することもできます。 自然現象の効果を劇的に追加したり、天気を変えたりで きます! 詳細情報



# AKVIS Neon - 写真を簡単にネオンのような発光した画風に加工できます!

(Windows | Mac)

AKVIS Neon は、ネオンのような発光インクを使用して描いたように見える写真に変換します。このツールを使用すると、驚くような輝くライン エフェクトを作成できます。まるで光を使って描く画家になったような気分が味わえます! 詳細情報



# AKVIS Noise Buster — デジタルノイズリダクション

(Windows | Mac)

AKVIS Noise Buster を使用すると、写真の印象を損なうことなく、デジタル写真上の輝度ノイズとカラー ノイズの両方を低減することが

でき、プロの写真家が撮影したような仕上がりが得られます。 デジタル ノイズが生じる要因はいくつか考えられます。カメラ マトリクスの加熱、 長時間露出撮影、スモール ピクセル サイズ (これが原因で、デジタル コンパクト カメラを使用した場合、デジタル SLR よりもノイズの多い写 真が生成されてしまう)、高 ISO 設定などがその要因です。詳細情報



#### <u>AKVIS OilPaint 一油絵効果</u>

(Windows | Mac)

AKVIS OilPaint は、写真を油絵に変換するソフトウェアです。プログラムの特長は、ブラシ ストロークの芸術的な適用を行うユニークなア ルゴリズムにより、可能な限り本物のブラシで描いたように見えるよう変換されるという点です。詳細情報

#### AKVIS Pastel — 写真をパステル画に変換

(Windows | Mac)

AKVIS Pastel は写真をパステル画調に変換します。このプログラムは、芸術的テクニックの一つでもあるパステルアートをデジタル画像で作りだそうというものです。詳細情報



# <u>AKVIS Points 一 点 描</u>

(Windows | Mac)

プログラムを使用することで、イメージを点描画法を使用した芸術作品に変換できます。写真であっても、点描画法を使用した素晴らしい絵画 になります! 詳細情報



# AKVIS Refocus - ピンボケの修正とぼかし効果

(Windows | Mac)

AKVIS Refocus は、ピンぼけしたイメージを鮮明にします。イメージ全体の処理を行うことはもちろん、背景に対して手前の被写体などが 目立つように指定部分のみピントの調整を行うこともできます。 はっきりした画像であっても、さらに改善できる余地は必ずあります。特殊な効 果で特定の部分を目立たせるには、部分指定のツールを使ったピントの調整を行うことができます。 詳細情報



#### <u>AKVIS Retoucher — 画像修復ソフトウェア</u>

(Windows | Mac)

AKVIS Retoucher は、傷やチリを効果的に除去できるソフトウェアです。Retoucherでは、チリ、傷、破片、しみ、水腐れ、その他損 傷を受けた写真に見受けられる不具合を除去することができます。Retoucherは、生産性を向上し、表面の不具合による作業を減らすこと ができるのです。詳細情報



# <u>AKVIS Sketch — 写真から鉛筆画を作成しましょう!</u>

(Windows | Mac)

AKVIS Sketch は、写真を鉛筆画や水彩画に自動的に変換するためのソフトウェアです。Sketch を使うと、黒鉛や色鉛筆、木炭や水彩の技法を真似て、実際に描いたようなカラーや白黒の絵を作成することができます。詳細情報



# AKVIS SmartMask - 選択範囲の作成を簡単にします

(Windows | Mac)

AKVIS SmartMask は楽しみながら使え、時間も節約できる効率的な選択範囲用ツールです。今までにはない、シンプルな選択範囲 用ツールです! 選択範囲の指定にかかる時間が短縮される分、創作活動に時間を使うことができます。詳細情報



# <u>AKVIS Watercolor — 水彩画</u>

(Windows | Mac)

AKVIS Watercolor は、本物さながらの素晴らしい水彩画を生成できます。詳細情報

